

グローバル産地づくり推進事業品目等の課題に応じた取組支援のうち JAS等の国際標準化による輸出環境整備委託事業

【令和4年度予算概算決定額 43（43）百万円】

<対策のポイント>

民間の取引条件等の課題を解決し、輸出拡大に向けた環境を整備するため、**輸出実績の向上に貢献するJAS等の国際標準化等を推進**します。

<事業目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

<事業の内容>

1. 国際規格の制定

ISO規格等の国際規格の制定に向け、**国際標準化戦略の検討、技術的データの収集、関係者間の合意形成、海外との折衝・調整、規格の実証・検証等**を実施します。

2. 国際標準化等にかかる専門人材の育成

民間企業等において、国際規格文書の作成・解釈や国際会議での交渉に精通した**専門人材を育成するための研修**を実施します。

3. 既存JASの国際整合化

JASと国際規格との技術的な差異を明らかにするため、検討会を開催し、**業界の競争力強化につながる規格のあり方や今後の方針等の検討**を行います。

<事業イメージ>

- 輸出実績の向上に貢献するJAS等の国際標準化・国際整合化を推進

JAS等をベースとした国際規格の制定

1. 国際規格の制定
2. 国際標準化等にかかる専門人材の育成

国際標準化活動の
実践

既存JASの国際整合化

3. JASと国際規格の比較及び業界毎の
整合化方針の策定

農林水産物・食品の
輸出環境整備

- 農林水産業・食品産業に国際標準化のノウハウ・経験を蓄積
- 業界による積極的な国際標準化、国際規格の活用を促進



- 民間の取引条件等の課題を解決
- 輸出拡大に向け、規格に既に合致している我が国産品をそのまま市場に出せる環境を整備

<事業の流れ>

